

高岡ガス株式会社

富山県高岡市 / ガバナ遠隔監視システム(令和5年度実施、令和6年度事業進捗中)



黒田 供給部サブチーフ

能登半島地震では、年末に設置完了したガバナ遠隔監視システムを活用した被害情報収集を行い、事なきを得ました



▲子局ガバナ、銅管柱及び遠隔監視制御盤

補助事業の導入経緯について

レジリエンス補助金をどのようにして知ったのか教えてください。

ガスエネルギー新聞での掲載記事と、一般社団法人日本ガス協会保安推進プランナーからの情報提供により、令和5年度から補助金が受けられることを知りました。

補助金を活用するに至った経緯と、最終的な決め手となったポイントを教えてください。

従来使用してきたガバナ遠隔監視システムの通信方式が、令和4年度末に停波することが分かり、既存システム更新を実施している中で、本補助金が対象となることを知り、申請をすることとなりました。

ガバナ遠隔監視システムの設備を導入するに至った経緯を教えてください。

昨今の地震をはじめとした頻発化、激甚化する自然災害を踏まえ、都市ガスの安定供給並びに保安レベルの向上に資すると考え、導入に至りました。

補助金申請を検討し始めてから、実際に申請を行うまでにかかった期間はどれくらいでしたか。また申請を決定してから実際に申請するまでの期間はいかがでしたでしょうか。

補助金制度の実施予定があるのを知った令和5年春頃から申請した夏頃にかけて4ヵ月程度、申請を視野に入れた下準備等を進めていました。募集が開始された時点で申請をすることは決断済みで、そこから1ヵ月程度申請書類を作成し、補助金交付申請に至りました。

発注先事業者を選定した理由や経緯を教えてください。

複数社を検討し、安定供給と保安レベルの向上そして有事を含めた将来性を考慮した結果、既にガバナに関する制御システムとして今般発注先業者の遠隔監視システムのセンターシステムを令和4年度に導入していました。令和5年度以降は、既に導入済みのガバナ遠隔監視システムと親和性が高く、低コストでの導入が可能となることが明確であったため、引き続き同社への発注となりました。補助金では競争見積もりを実施することが原則ですが、発注先選定理由書を作成することにより同社への特命発注が実現できました。

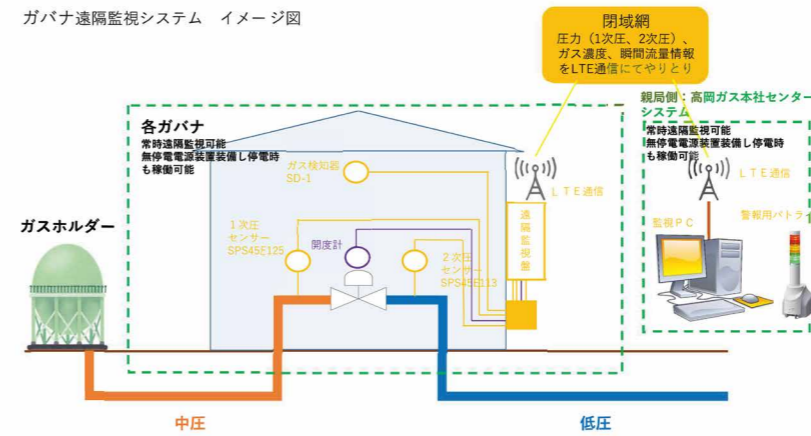
交付申請書作成にあたっての懸念事項と解決法

補助金申請については、不慣れな申請書類の作成や様々な添付資料が必要となり、また補助金事業特有の言い回しや、一般的な商慣習とは異なる取扱いがあるため、苦労や不安な点がありました。都市ガス振興センター等のご担当者が様々な質問に対して、その都度適切なアドバイスとフォローをいただきました。そのおかげで申請時の不安を払拭することができました。

ガバナ遠隔監視システムの機能について

既存システムの拡大・機能拡充として2点、①各ガバナの情報を常時同時表示し、面的に同時監視する機能、②開度計設置によりガス流量を把握し、災害時にガスを供給停止すべき範囲の特定がより迅速になる機能を重要視しました。

ガバナ遠隔監視システム イメージ図



▲高岡ガスガバナ遠隔監視システムイメージ図



▲本社親局ガバナ遠隔監視システムPC及び液晶画面、タブレット

交付決定(採択)後の事業遂行にあたっての不安点と、その解消法について

事業遂行については、申請時に計画を立ててはいたものの、実際に対象現場工事が完了するまでは、不安はありました。また、中間報告や実績報告書の作成にも不安な点がありました。しかし、申請時と同様に不明な点は、都市ガス振興センター等のご担当者に随時確認をとりながら作成ができたため、その不安は解消されました。

災害時に役立った事例について

この事業を実施する前後で、ガバナ遠隔監視システム設備に対する災害時の信頼性に変化はありましたか。

事業実施前からガバナ遠隔監視システムの目的としては、頻発化、激甚化する自然災害への安定供給並びに保安レベルの向上と考えていましたが、令和6年1月1日の能登半島地震を受けて、被害状況の把握にまさしく本システムが活用されました。災害を直に体感し、本システムの信頼性が大幅に上がりました。

補助金で導入した設備が実際に災害時に役立った事例について詳細を教えてください。

令和6年1月1日の午後4時10分ごろに発生した「能登半島地震」では、石川県輪島市と志賀町で震度7を観測しました。また、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測する広域的な震災が起きました。この地震では建物の倒壊や津波による被害などがあり、死者は240人以上に上っており、現在も復旧・復興に向けた様々な取り組みが続いています。弊社の供給エリア内では、震源地から約50km離れていたこともあり、高岡市では震度5強を観測しましたが、本システムを活用することで、早期に被害情報の収集を行うことができました。同システムを導入したことにより、万一の際のガス供給事業者としての対応に、安心感を得ることができたと感じています。

今後、レジリエンス補助金活用を検討されているガス会社のご担当者に向けてアドバイス

令和5年度は初年度ということもあって、事業開始から事業完了まで約6か月しか確保できないとの工期的な縛りがありましたが、令和6年度以降は約10ヵ月と工期を長くとることができるので、ガバナ遠隔監視システムの新規設置や機能拡充・拡大の予定のある事業者様は、この補助金があるうちに申請を行った方が大幅にコスト削減が実現できるので、ぜひ応募していただくことをお勧めいたします。

【補助事業者概要】

所在地: 富山県高岡市 需要家数: 14,664個(令和5年3月末)
代表者: 菅野 克志 代表取締役社長 従業員数: 34人

【補助事業概要】

ガバナ遠隔監視システム

導入時期: 令和5年12月20日
導入内容の概要: 親局センターシステム及び子局側装置(ガバナ10カ所)の更新(一般通信回線等利用からLTEの現行通信規格への切替)
・令和6年度には、更にガバナ7カ所へ拡大予定
・2年度設備導入費: 総額約2,700万円

設備の用途・機能・目的: 圧力やガス漏洩等を常時遠隔監視することによる異常の早期把握(停電時対応可)。
導入設備: センターガバナ遠隔監視システム機器及びソフト、子局盤、圧力センサー、ガス検知器、開度計用スリッド・台座等